

# 青葉の森公園芸術文化ホール イベントレポート

EVENT REPORT

当ホール主催の公演・講座の雰囲気  
をみなさまに発信する、  
「サポーターライタース」の方による  
レポートをお届けします。

# 初夏の 避難訓練 コンサート

平成30年

6月3日

[日]

開演 11:00



出演  
千葉市消防音楽隊

## も

し、あなたがコンサート会場で突然の災害に遭遇したら、どうしますか？  
何ができるでしょうか？  
タイトル通りの初夏の爽やかな一日となった6月3日、「避難訓練」と「コンサート」という二つの体験ができる貴重な機会がありました。

会場には、親子連れをはじめ多くのお客様が訪れ、わくわくと緊張感の入り混じった中、平野隊員（指揮）以下、43名による演奏、行進曲「美中の美」でコンサートはスタートしました。演奏は白い制服姿も凛々しい千葉市消防音楽隊。

昭和26年、全国3番目に発足した歴史ある消防音楽隊です。  
今回は市民と消防との「音の架け橋」をモットーとする音楽隊らしく、多くの世代に楽しんでもらいたいという気持ちで、

「川の流れるように」では多くの人が名曲に酔いしれ、「ウエスト・サイド・ストーリー」で華やかにコンサートが終わりを告げました。  
また、アンコール曲「ハローファイヤーマン」には、実際に消防車で使用されていたというベルとサイレンが音楽の中で登場し、消防音楽隊らしいフィナーレとなりました。

今回の首都直下型地震が起ったという想定訓練でしたが、災害や事故はいつ起こるかはわかりません。鹿見音楽隊副隊長による講評でも、大事なものは「現場の係の指示に従うこと」と「普段から備えることの大切さ」とのお話がありました。

ちがプログラムからも伝わってきました。  
2曲目は「カーペンターズ・フォーエバー」。1970年代を彩った数々の馴染みのある曲のメドレーに青春時代を思い出す人も多いのか、観客の皆さんも自然と体が揺れています。  
その後、NHK「小さな旅」テーマ曲「花と風の四季」に続いて、小さいおともだちが楽しみにしている「ドラえもん」主題歌が始まりました  
……ここで突然……  
「ドォー……ドォー……ドォー……!!!」  
という地響きのような大きな音が……!

緊急地震速報が流れ、照明が落ち、会場の雰囲気が一変、緊張感が漂います。  
サイレン、館内放送が流れる中、すぐに照明は復旧（自家発電）。観客と舞台の音楽隊の皆さんは、慌てたり騒ぐことなくカバンなどで頭を守り姿勢を低くし、じつとホール職員の説明を聞いています。  
何分ぐらいその姿勢でいたでしょうか？ 5分？ 10分？  
開演前にあらかじめ、職員より避難訓練の流れや注意事項を聞いていたにもかかわらず、このようなときは時間が本当に長く感じられてしまいます。

この体験コンサートを通して思ったのは「訓練だとわかっているから混乱なくできたことかもしれない。けれど、この体験があれば必ず思い出し、役に立つはずであり、今日体験した人が災害に遭遇したときに、一人でも落ち着いて行動することで、会場でのパニックを少しでも防げるのではないだろうか。」ということです。  
だからこそ、より多くの人がこのような体験ができるチャンスがあれば……と願っています。  
サポーターライタースはなはたけ

